

参考資料1 インタビュー事前アンケートご記入のお願い

インタビュー事前アンケート ご記入のお願い

「看護職の多様な勤務形態による就業促進事業」【厚生労働省補助金事業】における「看護職の働き続けられる勤務形態」の実態把握のための訪問インタビューをお受けいただきありがとうございます。今年度は20施設前後の多様な勤務形態導入好事例を収集し、その結果を日本看護協会HPや中央ナースセンターHPを通じて、広く一般に紹介する予定です。

つきましては、お忙しい中恐縮ですが、全施設共通の項目で情報を収集し、かつインタビューの参考にさせていただくため、下記アンケートへのご協力をお願いいたします。

＊おわかりになる範囲でご記入ください。インタビュー当日に補足いただいても結構です。

＊質問に関する参考資料がある場合はぜひ拝見させてください。

＊一部、多様な勤務形態に従事するスタッフの方にご記入いただく部分があります。ご依頼くださいますようお願いいたします。

＊インタビュー当日に訪問者にお渡しくださいますようお願いいたします。

＊本アンケートでの看護職とは、保健師、助産師、看護師、准看護師としてご記入ください。

＊多様な勤務形態に対して通常の雇用契約で勤務する職員をフルタイム正規職員と記載しています

1. 貴院の概要についてご記入ください。(数値は小数点1位までお願いします)

病院名	
設置主体	
病院の特色	
病院理念	
病床数	床
入院基本料	対
1日平均患者数	外来 人／日 (2006年度平均) 入院患者数 人／日 (2006年度平均)
病床利用率	% (2006年度平均)
平均在院日数	日 (2006年度平均)

＊以下、貴院の看護職についてお答えください。(数値は小数点1位までお願いします)

看護職人数	正規雇用 (看護師 人 ・ 准看護師 人) 非正規雇用 (看護師 人 ・ 准看護師 人) ※看護師人数には、保健師・助産師・看護師を含めてください。
平均年齢	2006年度 () 歳
平均在職年数	2006年度 () 年
離職率	2004年度 () % 2005年度 () % 2006年度 () %

所定労働時間	() 時間／1 週間																																								
超過勤務時間 (2006 年度)	() 時間 (1 名に対する 1 ヶ月の平均時間・フルタイム正規職員) () 時間 (1 名に対する 1 ヶ月の平均時間・多様な勤務をしている職員)																																								
年間休日数	() 日 (有給休暇や特別休暇は含まず)																																								
有給休暇日数	初年度 () 日／年から最高 () 日／年																																								
有給休暇の取得状況 (2006 年度)	平均日数 () 日・() % (フルタイム正規職員) 平均日数 () 日・() % (多様な勤務をしている職員)																																								
勤務形態と 従事者数など	現在の全ての勤務形態についてご記入ください。時間給契約の非正規雇用者は契約時間数にかかわらず時間契約として一括記入ください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>勤務帯又は時間帯</th> <th>従事者数* 1</th> <th>正規雇用者数</th> <th>非正規雇用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>例：2 交替制 (8 時～20 時) (19 時～9 時)</td> <td>350 人</td> <td>300 人</td> <td>50 人</td> </tr> <tr> <td>例：短時間勤務 (8 時～14 時) (16 時～21 時)</td> <td>50 人</td> <td>35 人</td> <td>15 人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table> * 1 従事者数は、その勤務帯で契約して従事している看護職の総数です。	勤務帯又は時間帯	従事者数* 1	正規雇用者数	非正規雇用者数	例：2 交替制 (8 時～20 時) (19 時～9 時)	350 人	300 人	50 人	例：短時間勤務 (8 時～14 時) (16 時～21 時)	50 人	35 人	15 人		人	人	人		人	人	人		人	人	人		人	人	人		人	人	人		人	人	人		人	人	人
勤務帯又は時間帯	従事者数* 1	正規雇用者数	非正規雇用者数																																						
例：2 交替制 (8 時～20 時) (19 時～9 時)	350 人	300 人	50 人																																						
例：短時間勤務 (8 時～14 時) (16 時～21 時)	50 人	35 人	15 人																																						
	人	人	人																																						
	人	人	人																																						
	人	人	人																																						
	人	人	人																																						
	人	人	人																																						
	人	人	人																																						
	人	人	人																																						

2. 病院組織における看護部の位置づけと役割についてお伺いします。

1) 院内組織図はありますか？該当するほうに○をつけてください。

あり なし

↓

インタビューの際に組織図を拝見させていただきます。

2) 看護部長の権限について、該当するほうに○をつけてください。

- (1) 副院長職⇒ 兼任している 兼任していない
(2) 経営会議⇒ 参画している 参画していない
(3) 人事権⇒ あり なし

3. 多様な勤務形態の現状についてお伺いします。

1) フルタイム正規職員以外の職員の所属について教えてください。

(病棟直属／看護部直属／その他)

例：短時間勤務（8時～14時）（16時～21時）＝正規雇用者は病棟直属。

非正規雇用者は看護部直属。

2) 多様な勤務形態が全体で行われているか部署に依存しているかについてお伺いします。

該当するほうに○をつけてください。

看護部全体に導入

部署ごとに導入（未導入の部署あり）

↓

導入している部署の特徴を教えてください。

3) インタビューに参加いただく部署の管理者の方が管轄されている1ヶ月分の勤務表を拝見させていただきます。

4) フルタイム正規職員が多様な勤務形態での従事を希望する場合の申請方法と申請条件、更新方法について教えてください。

4. 多様な勤務形態についての評価についてお伺いします。

多様な勤務形態の導入について評価をどのように行っていますか。

用いている評価指標がありましたら教えてください。

5. 人事管理についてお伺いします。

人事管理を担当する部門はありますか？該当するほうに○をつけてください。

ある ない

↓ある場合、担当する部門の組織における位置づけと機能について教えてください。

6. 多様な勤務形態で従事する職員の待遇についてお伺いします。

- 1) 正規雇用を決める際の基準(例：夜勤月3回以上で正規雇用、週35時間以上勤務で正規雇用、等)
について教えてください。

- 2) 多様な勤務形態で従事する看護職員の給与／賞与の決定方法・基準について教えてください。

<正規雇用>

<非正規雇用>

- 3) 多様な勤務形態で従事する看護職員の人事考課の方法・基準について教えてください。

<正規雇用>

<非正規雇用>

- 4) 多様な勤務形態で従事する正規雇用看護職員の福利厚生についてお伺いします。フルタイム正規職員と違いがあればその内容を教えてください。

参考資料2 看護職の多様な勤務形態による就業促進事業「多様な勤務形態導入事例」に関するインタビューガイドライン

看護職の多様な勤務形態による就業促進事業 「多様な勤務形態導入事例」に関するインタビューガイドライン

* 「インタビュー事前アンケート用紙」を郵送。当日までに記入いただく。参照のうえインタビューを実施。

対象	インタビュー項目
部長	I. 看護部の位置づけと機能 1. 病院組織における看護部の位置づけと役割 多様な勤務形態を推進するための連携など
部長 師長 スタッフ・同僚	II. 多様な勤務形態について（導入への契機・導入過程・現状） 1. 多様な勤務形態の導入への契機 2. 多様な勤務形態の導入過程 3. 多様な勤務形態の現状 4. 多様な勤務形態 導入についての評価と今後の課題 5. 多様な勤務形態についての満足（スタッフ・同僚/処遇・業務等）
部長 事務長	III. 人事管理の観点から 1. 人事管理部門について 人事管理を担当する部門があるか、人事管理を担当する部門の組織における位置づけ／機能 2. 多様な勤務形態で従事する職員の処遇・評価等について 常勤・非常勤別に 3. 職員の定着状況について 多様な勤務形態の導入による職員の定着・確保状況の変化
部長 師長	IV. 質管理の観点から 1. 多様な勤務形態の導入による看護サービスの質への影響
部長 事務長	V. コスト管理の観点から 1. 多様な勤務形態の経営面への影響
師長	VI. 病棟での運用の現状 1. 勤務表の作成・管理 2. 多様な勤務形態導入にあたっての工夫・事前準備 3. 看護方式および多様な勤務と業務、患者重症度などの実際のマネジメントを誰が担っているか、チームリーダ、主任への権限委譲等 4. 病棟における知識の共有・スタッフ間の相互依存関係
スタッフ	VII. スタッフの多様な勤務形態制度利用の背景と業務の現状 1. 制度利用の背景・きっかけ 2. 現在の勤務形態の業務 3. 超過勤務・休暇取得の現状 4. 多様な勤務形態のメリット・デメリット
	VII. 現在のワークライフバランスとキャリアプラン 1. 現在のワークライフバランスとキャリアプラン 必要としている支援等
同僚	VIII. 多様な勤務形態制度利用者のいる部署の現状と課題 1. 部署に多様な働き方があることのメリット・デメリット
全員	IX. 病院、病棟の組織・風土 1. 上司・同僚のサポート 2. スタッフからの意見の吸い上げ、活用 3. 新卒の定着
全員	X. その他

同 意 書

- インタビュー題目：「看護職の多様な勤務形態による就業促進事業」における
「多様な勤務形態導入事例」に関するインタビュー
- 組 織：（社）日本看護協会専門職支援・中央ナースセンター事業部
- 調査の目的：「看護職の多様な勤務形態による就業促進事業」の一環として「多様な勤務形態についての
実態を把握する。（結果は報告書にまとめ、看護職への参考情報として本会ホームページ
に公開の予定）

あなたの同意があつてはじめてインタビューを行います。インタビューはICレコーダーに録音します。録音したデータは、インタビュー者（および場合によっては録音データおこしのタイピスト）以外のほかの誰にも聞かせません。インタビュー内容は、最終報告書の中で引用されるとともに、看護職等への参考情報として引用され、本会関連ナースセンターホームページで公開する予定です。引用文では、病院名および個人名ともに匿名を用います。どの病院の誰であるかはわからないようになっています。特に答えたくない質問があればどんなものでも答える必要はありません。いつでもインタビューへの参加を取りやめて構いません。このインタビューに参加しなくても、絶対にあなたの立場に影響はありません。調査者は調査の完成をもって録音データを消去します。

インタビューへの同意

私（氏名） _____ は、

インタビューを受けることに同意します。私は、いつでもインタビューを受けることを取りやめてもよいことを理解し、報告書や公開されるホームページにおいても私が特定されないことを理解しました。このインタビューを受けても私自身の立場に影響がないこともわかりました。

インタビュー対象者の所属先 _____

インタビュー対象者の署名 _____ 日付 年 月 日

インタビュー実施者の署名 _____ 日付 年 月 日